

令和3年度

自己評価表

i キャリア医療福祉専門学校

## 1. 学校の教育目標

### (1) 教育理念

- ・ 広く、深く専門的な知識・技術を授けるとともに、人間の尊厳に配慮できる人材の育成をモットーに、社会に貢献し得る有能な医療・福祉従事者を育成するとともに人類文化の発展に寄与することを目的としている。

### (2) 教育目的

- ・ 学生として品位を保ち、有意義な学生生活が送れるよう、人間関係においては極めて友好的であるよう努めるとともに、個々の学業が達成でき得るようにする。

### (3) 育成人材像

- ・ 介護福祉士に関する専門的知識及び技能を修得し、職業もしくは実生活に必要な能力を育成し、社会に貢献する人材を養成する。

## 2. 重点目標と対策

### (1) 学習指導の充実

- ① 授業時数の確保、毎時の授業を充実させ基礎的学力の向上をはかる。
- ② 指導方法の改善につとめ、適切な評価に結びつける。
- ③ 学習意欲を喚起し、積極的に実践力の習得を図る。
- ④ 国家試験の合格率 100%を目指す。

### (2) 生活指導の徹底

#### ① 退学者・不登校生の対策

専任教員間での共通理解と家庭との連携を強化し個別的指導により徹底を期する。

#### ② 集団生活の意義と在り方を理解でき、日常の生活習慣の見直し、介護福祉職としての人材育成と資質向上を図る。

### (3) 進路指導の充実

- ・ 就職の意識付け、就職率 100%の達成

### (4) 環境整備

- ・ 学校内の感染予防・学生の健康への保持

### (5) 地域連携を図る

- ・ ボランティア活動等の積極的推進

<自己評価報告書>

4 適切 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 不適切

1 教育理念・目標・人材育成像

| 評価項目                               | 評価 |                                 |
|------------------------------------|----|---------------------------------|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか           | 4  | 心得で定められ、学生たちに周知している。            |
| ・社会ニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか。         | 3  | 社会ニーズの変化を踏まえ、留学生への教育も行っている。     |
| ・学校リネン、目的、特色、将来構想などが学生たちに周知されているか。 | 4  | 入学時のオリエンテーションで周知し、学生たちにも配布している。 |

2 学校運営

|   |   |                   |
|---|---|-------------------|
| ・目的などに沿った運営方針が作成されているか                    | 4 | 運営方針は策定されている      |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。                   | 4 | 事業計画は策定されている      |
| ・運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか | 4 | 法人全体での運営をしている。    |
| ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。                 | 4 | 学内掲示などで情報公開はしている。 |

3 教育活動

|   |   |   |
|---|---|---|
| ・教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成、実施方針などが策定されているか。                   | 4 | 授業概要を作成し、教育到達レベルや授業方針は策定されている。          |
| ・学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか                                 | 4 | 編成されている                                 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか       | 4 | 施設実習を想定した授業など、工夫している。                   |
| ・関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか                          | 4 | 介護実践のスキルを磨けるように関係するものを取り入れている           |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか   | 4 | 授業評価を行い、次の授業に活かせるようにしている。               |
| ・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか                           | 4 | 明確になっている                                |
| ・資格取得などに関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                    | 4 | 国家試験対策など資格取得に向けた指導体制をカリキュラムの中に位置付けられている |
| 関連分野の先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。 | 4 | 授業の内容や指導方法などフィードバックして、資質向上に努めている。       |

#### 4 教育成果

|   |   |   |
|---|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか                         | 4 | 個別就職支援を行っており、就職率も長年100%となっている。                              |
| ・資格取得率の向上が図られているか                       | 4 | 試験対策講座の時間を設け、個別指導を行い、介護福祉士国家試験100%合格となった。                   |
| ・退学率の低減が図られているか                         | 4 | 学生面談などを行い、コミュニケーションを積極的に図っているため、しばらく退学者はでていない               |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 | 卒業後、半年間は、学生に連絡を入れて、就業状況のヒアリングをして、アドバイスをしたり、学校教育に反映させたりしている。 |

#### 5 学生支援

|                         |   |  |
|-------------------------|---|--|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | ・求人情報は掲示にて情報提供している。                            |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか    | 4 | ・個別に学生就職相談で対応している。                             |
| ・学生に対する支援体制は整備されているか    | 4 | ・教員を中心に、職員全体で健康管理を意識し行っている®                    |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか     | 4 | ・看護師の先生を中心に感染対策の指導を行ったり、健康診断の実施、保険の加入などを行っている。 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか  | 4 | ・福祉施設ボランティアなど学校から紹介し、課外活動を実施している。              |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか    | 4 | ・面談をして、生活環境への支援が必要な場合は、対応している。                 |
| ・保護者と適切に連携しているか         | 4 | ・必要なときは、保護者と連絡を取りあい、連携をしている。                   |
| ・卒業生へ支援体制はあるか           | 4 | ・就職先で困ったことがあったら、学校へ来てもらい、相談にのっている。             |

#### 6 教育環境

|   |   |                                     |
|---|---|-------------------------------------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか             | 4 | ・オンライン学習ができるインターネット環境も揃っている。        |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか。 | 4 | 介護実技を行う施設等十分にそろっている。                |
| ・防災に対する体制は整備されているか。                           | 4 | 毎年、防災訓練を行ったり、非常階段の確認、防火扉の確認など行っている。 |

#### 7 学生の受け入れ募集

|                    |   |                    |
|--------------------|---|--------------------|
| ・学生募集活動は適正に行われているか | 4 | ・高校訪問を行ったり、ガイダンスに参 |
|--------------------|---|--------------------|

|                              |   |   |
|------------------------------|---|---|
|                              |   | 加したり、学校説明会を開催している。                                      |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3 | ・学校説明会などの参加者には就職や資格取得について十分に説明できるが福祉の希望者する高校生が少なくなっている。 |
| ・学納付金は妥当なものとなっているか。          | 4 | ・入学金、授業料と含め入学生の経済的負担が少なくなるよう努力している。                     |

## 8 財務

|                            |   |              |
|----------------------------|---|--------------|
| ・中長期的に法人の財務基盤は安定しているといえるか。 | 4 | 安定している。      |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか  | 4 | 妥当なものになっている。 |
| ・財務について会計監査適正に行われているか。     | 4 | 適正に行われている。   |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか        | 4 | 整備されている。     |

## 9 法令などの遵守

|                                  |   |                        |
|----------------------------------|---|------------------------|
| ・法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか。 | 4 | 運営している。                |
| ・個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか      | 4 | 個人情報訪後については、繊細に管理している。 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか           | 3 | 自己点検票の見直しを行っている。       |
| ・自己評価結果を公開しているか                  | 3 | 閲覧可能としている。             |

## 10 社会貢献・地域貢献

|                                   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | 4 | 食品放射線測定なども行っており、地域に開かれた学校づくりをしている。                          |
| ・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか           | 3 | 福祉施設と協力しボランティア活動を積極的に行っていたがコロナの影響でなかなか実施しにくくなっている。          |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極的に実施しているか | 3 | 教育訓練の受託は行っているが、コロナ感染の影響もあり、公開講座の開催は、感染が落ち着いてからでないといけないと難しい。 |

### 総合的な課題と改善策

#### 課題

- ・社会状況からも学生の確保は厳しさを増している。募集状況については、教員を含め職員全体で共通認識をし、継続的に取り組むことが求められる。
- ・コロナ禍で施設ボランティアなど制限されている。

#### 改善策

- ・高校訪問を積極的に行い、介護職の魅力を伝えていく。
- ・コロナウイルス感染が落ち着いてきたら、ボランティア活動や地域交流の機会を広く持つようにしていく。